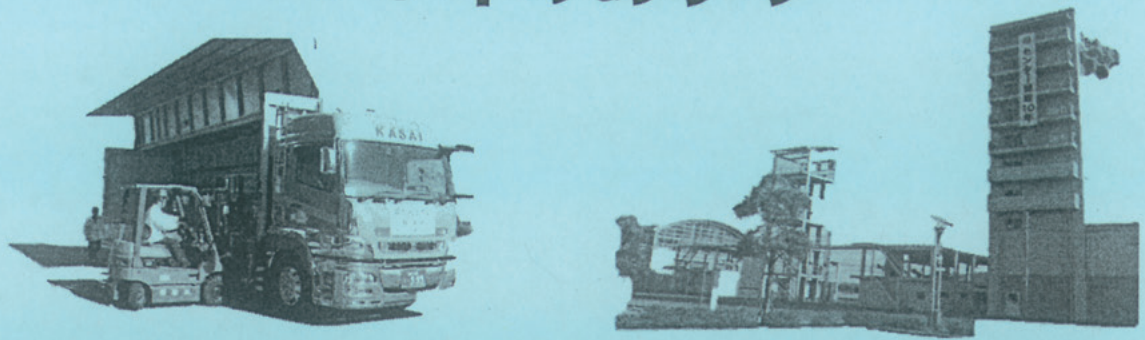


広域防災センター 10年のあゆみ



兵庫県広域防災センター
平成27年1月

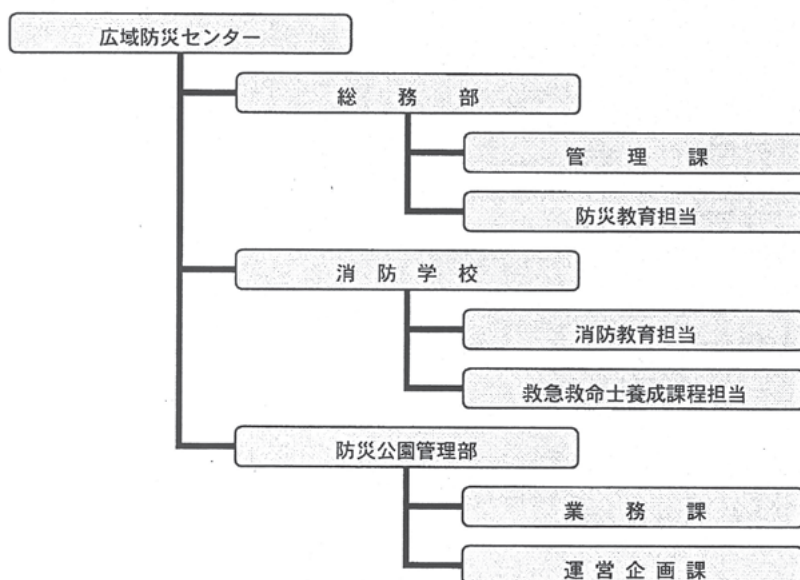
目 次

I 沿 革	1
II 組 織	1
III 施 設	3
1 県立広域防災センター	3
2 県立三木総合防災公園	4
3 施設の防災上の機能	4
4 災害時の利用と平常時の利用	5
5 災害時の用途別ゾーニング	6
IV データで見る10年のあゆみ	8
1 災害時等の対応	8
(1) 備蓄物資等搬出実績	8
(2) 県民・企業からの支援物資の仕分け・搬出	8
(3) 実動部隊の宿営	9
(4) ヘリによる救急搬送	9
2 防災研修	10
(1) 研修受講者数	10
(2) 「ひょうご防災リーダー講座」受講者・修了者数	11
3 消防学校	12
(1) 消防職員に対する教育訓練	12
(2) 消防団員に対する教育訓練	13
(3) 自衛消防隊員に対する教育訓練	13
(4) 平成26年度 教育・研修日程	14
4 防災関係機関による訓練施設の利用	15
5 三木総合防災公園	16
(1) 入園者数の推移	16
(2) 主な催し	16
6 広域防災センター実戦デモ	19
7 職員名簿	21

I 沿革

- 平成 7 年 7 月 阪神・淡路震災復興計画（フェニックス計画）の象徴的プロジェクトとして、被災地外から被災地への人員や物資搬送等救援・復旧の前線基地となる広域防災拠点の整備が位置づけられる。
- 平成 8 年 2 月 県立三木総合防災公園都市計画決定
3 月 県立三木総合防災公園事業着手
- 平成 8 年 3 月 県立防災センター（仮称）基本構想策定
- 平成 11 年 3 月 総合防災センターゾーン基本設計策定
- 平成 14 年 12 月 県立広域防災センター建築工事着手
- 平成 16 年 4 月 県立広域防災センター開設。同センター内に消防学校を神戸市北区から移転し内部組織とする
10 月 ひょうご防災リーダー講座を開設（学習・訓練ゾーン）
- 平成 17 年 4 月 県立広域防災センターと県立三木総合防災公園とを一元的に管理運営する組織として広域防災センターを設置。内部組織として総務部、消防学校、防災公園管理部を置く。
8 月 県立三木総合防災公園一部開園
野球場オープン（総合防災公園ゾーン）
9 月 防災ヘリポート（非公共ヘリポート）供用開始（学習・訓練ゾーン）
実大三次元震動破壊実験施設（E-ディフェンス）供用開始（学習・訓練ゾーン）
※（独）防災科学技術研究所所管
陸上競技場オープン（総合防災公園ゾーン）
10 月 消防学校救急救命士養成課程開設（学習・訓練ゾーン）
球技場（みきぼうパークひょうご）オープン（総合防災公園ゾーン）
- 平成 18 年 3 月 中央芝生広場オープン（総合防災公園ゾーン）
- 平成 19 年 5 月 ガレキ救助訓練施設供用開始（学習・訓練ゾーン）
11 月 屋内テニスコート（ブルボンビーンズドーム）オープン（総合防災公園ゾーン）
- 平成 21 年 5 月 グラウンドゴルフ場、林間広場オープン（総合防災公園ゾーン）
- 平成 22 年 5 月 県立三木総合防災公園全面開園。自然・体験の森オープン（総合防災公園ゾーン）
8 月 屋外テニスコートオープン（総合防災公園ゾーン）
- 平成 26 年 5 月 ガレキ救助訓練施設（第 2 期）供用開始（学習・訓練ゾーン）
11 月 震災 20 年・開設 10 年広域防災センター実戦デモ開催

II 組織



【災害時の組織体制】

班・チーム	拠点業務の内容	備 考
統括 センター長 兼消防学校長	① 拠点業務の統括	
総括班 班長：総務部長		
庶務チーム チーム長：副校長兼管理課長	① 県災害対策本部及び関係機関等との連絡調整 ② 災害情報、被害情報の収集 ③ 応援職員、ボランティア等拠点要員の確保 ④ 拠点本部エリアの管理運営 ⑤ 拠点職員、在校中の消防学校教育生等の宿泊、食料等生活基盤の確保 ⑥ 物資輸送に係る調整	総務部
部隊調整チーム チーム長：市主任消防教育専門員	① 駐屯部隊との連絡調整 ② 拠点調整会議の運営 ③ 部隊駐屯エリアの管理運営 ④ ヘリポート(非公共用、臨時)の管理運営 ⑤ 輸送経路の把握	消防学校
機動チーム チーム長：総務部長兼務	① 総括班長の指示により、他班、他チームの業務に従事	消防学校
物資班 班長：防災公園管理部長	① 物資、資機材の集配(搬入・仕分け・搬出) ② 物流事業者との連絡調整 ③ 物資集配エリアの管理運営	防災公園管理部
教育生班 班長：県主任消防教育専門員	① 在校中の消防学校教育生の指導及び教育生に係る消防本部との連絡調整	消防学校 ※在校中の消防学校教育生が無の場合、機動チームに組み込む

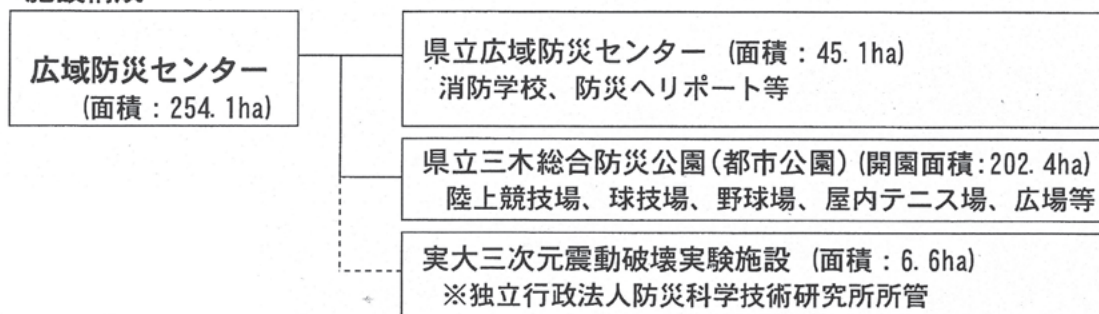
※ 非常勤嘱託員は、センター長の指示により拠点業務に従事する。

なお、休日、夜間勤務の非常勤嘱託員(防災研修嘱託員、消防教育嘱託員)は、休日、夜間に県災害対策本部又は県防災局から災害情報や災害対策に係る指示等を受電した場合、センター長に報告し、その指示に従う。

※ 防災公園指定管理者職員は、物資班の業務に従事する(協定に基づく支援要請)。

Ⅲ 施設

施設構成



1 県立広域防災センター

名 称	規 模	概 要
学習・管理棟	R C造2階建 延面積 3,957.21 m ²	事務室、展示ホール、食堂、講堂、教室、視聴覚室、会議室、図書室、倉庫
教育棟	R C造平屋建 延面積 1,050.64 m ²	大教室、救急実習室、救急資機材室、理化学実験室、火災調査室
宿泊棟	R C造3階建 延面積 2,700.20 m ²	収容人員 172名 トレーニング室、浴室、和室、談話室
主訓練棟	R C造10階建 延面積 1,488.81 m ²	大規模火災燃焼室、模擬火災訓練室、耐熱耐煙訓練室、スプリンクラー体験室、模擬護岸、模擬杭
補助訓練塔	S造、A棟6階 B棟2階、C棟2階 延面積 493.00 m ²	ロープ渡過訓練施設、ロープ・梯子登はん訓練施設、ほふく訓練施設、倉庫
屋内訓練場	R C造平屋建 面積 1,190.00 m ²	鉄道事故訓練施設、模擬ヘリコプター、雨天時訓練施設、教育用火災報知設備
水難救助訓練場	R C造平屋建 面積 208.00 m ²	25m プール (6 コース) ダイビングプール (深さ 5 m)
サーキット訓練場	訓練施設 10 種類	体力練成訓練施設、障害壁
グラウンド (北)	硬質ゴム舗装 (一部 アスファルト舗装) 110m×90m	訓練用各種消火栓、訓練用放水銃
グラウンド (南)	クレー舗装 130m×140m	ガレキ救助訓練施設、水防訓練施設
防災ヘリポート	21,399.00 m ²	非公共ヘリポート (3 機駐機可能) ヘリ格納庫、燃料庫

※自家発電設備 (1,000kVA) を設置

2 県立三木総合防災公園

施設名	内 容
陸上競技場 (注) スタンド下の 約 5,000 m ² を備蓄 倉庫として活用	日本陸上競技連盟公認第1種競技場 メインスタンド：鉄筋コンクリート造り3階建て 建築面積：16,724 m ² 、延床面積：29,951 m ² 収容観客：約 20,000 名 トラック及びフィールド：全天候型 400mトラック9レーン天然芝フィールド
第2陸上競技場	日本陸上競技連盟公認第3種競技場 トラック及びフィールド：全天候型 400mトラック8レーン天然芝フィールド
球技場	サッカーコート3面（天然芝2面、人工芝1面〈夜間照明付〉） クラブハウス：建築面積：578 m ² 、延床面積：627 m ²
野球場	硬式野球場 ホームベース～センター擁壁 122m ホームベース～レフト・ライト擁壁 97.5m 内野（黒土グラウンド）、外野（天然芝）、夜間照明
屋内テニス場 (ビーンズドーム)	鉄骨トラスドーム構造、平屋建て、建築面積 16,167 m ² センターコート1面、サブコート8面、センターコート観客席 1,500
屋外テニス場	樹脂系ハードコート 4面
グラウンドゴルフ	8ホール×3コース 練習場8ホール×1コース
広場 等	中央芝生広場、展望広場、桜の広場、西芝生広場、眺望園地 林間広場
駐車場	乗用車 1,997台 大型バス 36台 身障者用 32台

※自家発電設備（400kVA）を設置

※耐震性貯水槽（80t）を設置

3 施設の防災上の機能

(1) 備蓄機能

陸上競技場備蓄倉庫（サイド、バックスタンド下約 5,000 m²を活用）に、被災者の生活や人命救助に必要な物資及び資機材を備蓄している。

〔主な備蓄物資〕

〔平成26年9月1日現在〕

物資種別		単位	数 量
被災者用物資	食糧（アルファ化米）	食	53,300
	毛 布	枚	68,000
	紙おむつ	枚	45,700
	ブルーシート	枚	3,640
	仮設トイレ	基	790
	仮設風呂	台	15
救助用資機材	人命救助システム	式	21
	船外機付きボート	隻	8
簡易救助資機材	スコップ	本	6,000
	バール	本	6,000
防災拠点運営用資機材	簡易宿泊型テント	張	397
	投光機	台	24
	発電機	台	3
	要員用仮設トイレ	基	45
	簡易ベッド	台	150

(2) 部隊の駐屯機能

消防、警察、自衛隊等の各部隊が駐屯・宿営できるよう、芝生広場などの広い空間を確保している。

実動部隊の駐屯地	芝生広場、球技場、グランドゴルフ場、駐車場
----------	-----------------------

(3) 物資の集配機能

被災地に必要な救援物資等を集積、仕分け、配送するための、屋根付きの大きな建物を確保している。

物資の集積、仕分け、配送	屋内テニスコート、陸上競技場
--------------	----------------

(4) ヘリポート機能

災害時に陸路での輸送が困難になることを想定して、救援物資や人員の輸送を迅速に実施できるよう、ヘリコプターの離着陸が防災拠点内で行える。

ヘリ離着陸場	防災ヘリポート、第2陸上競技場、野球場
--------	---------------------

4 災害時の利用と平常時の利用

災害時の利用  平常時の利用

共通の空間

災害時と平常時利用の相乗効果

県全域をカバーする 広域防災拠点	スポーツ施設を備えた都市 公園と防災人材育成施設
① 部隊の集結・宿営スペースとしての平坦な広場空間	① フラットな競技用スペースと芝生広場
② 物資の備蓄・集積配送、部隊の宿営スペースとしての屋内空間	② 陸上競技場や屋内テニスコート等比較的大規模な競技用建築物の屋内スペース
③ 拠点運営や部隊等との連絡調整スペースとしての施設空間	③ 情報機器を備えた教室等多様な教育・訓練施設
④ 広域防災拠点の運営主体としての要員配置	④ 防災人材育成、公園の管理運営等平常業務の職員配置

5 災害時の用途別ゾーニング

(1) 拠点本部エリア (30,000㎡) **ゾーニング図A**

三木全県拠点本部事務局を置き、拠点全体の管理運営、総合調整を行うエリア

施設名	活 用 方 法
学習・管理棟	1 F 拠点本部事務局 2 F 拠点調整会議室 : 視聴覚室 148 ㎡ 自衛隊連絡・調整員室 : 会議室1・会議室3 160 警察連絡・調整員室 : 教室1 99 消防連絡・調整員室 : 教室2 99
教育棟・宿泊棟	※ 在校中の消防学校教育生が居ない場合、 拠点職員、応援職員及び自衛隊、警察、消防から派遣された連絡・調整員等の宿舎として活用可能
屋内訓練場 ・北クラウンド	※ 在校中の消防学校教育生が居ない場合、 部隊駐屯エリア、物資集配エリアの予備スペースとして活用可能 (北グラウンドはヘリポートの予備エリアとしての活用も可能)

(2) 部隊駐屯エリア (148,600㎡) **ゾーニング図B-E**

自衛隊、警察、消防の各部隊が駐屯し宿営するエリア

エリア名	場 所	備 考
B 自衛隊 駐屯エリア 46,600 ㎡	球技場(Ⅰ～Ⅲ) 32,000 ㎡ 球技場駐車場、アツバ広場、遊具広場 12,600 野球駐車場 2,000	テント 475 張 駐屯人数 2,850 人 車両数 263 台
C 警察 駐屯エリア 23,500 ㎡	中央芝生広場 14,000 ㎡ 中央駐車場 4,500 土広場 5,000	テント 350 張 駐屯人数 2,100 人 車両数 48 台(大型)
D 消防 駐屯エリア 44,500 ㎡	エントランス前芝生広場 12,000 ㎡ グランドゴルフ場 17,000 グランドゴルフ駐車場、西駐車場 15,500	エアテント 145 張 駐屯人数 2,900 人 車両数 516 台
E 駐屯 調整エリア 34,000 ㎡	西芝生広場 16,000 ㎡ 林間広場、同駐車場 18,000	テント 200 張 駐屯人数 1,200 人 車両数 560 台

※ 駐屯調整エリアは次の場合に活用する。

- ・多くの部隊が駐屯し自衛隊、警察、消防の各駐屯エリアの容量を超える場合の予備スペースとして活用する。
- ・部隊が遠方の被災地に向かう途上の一時滞在場所として活用する。

(3) 物資集配エリア (66, 000㎡) **ゾーニング図F**

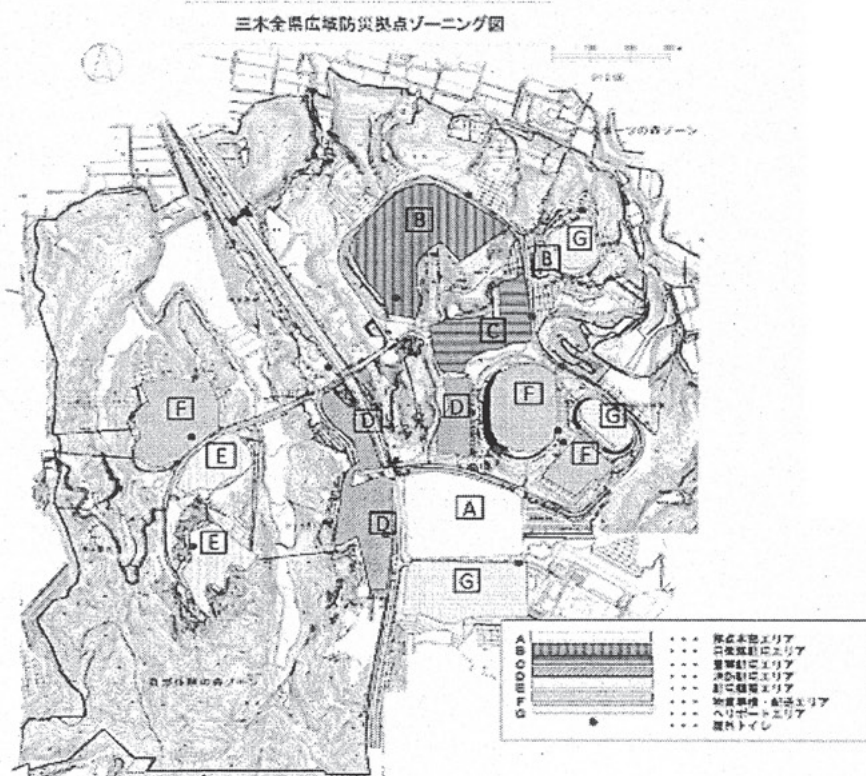
県内外から搬入される物資及び資機材を集積、仕分け、配送するエリア

エリア名	場 所	備 考
陸上競技場 エリア 43, 000 ㎡ ※ 主として備蓄物資、大口物資の集配業務を行うエリア	陸上競技場 22, 000 ㎡ 同 メイン駐車場 13, 000 同 東側芝生及び通路広場 8, 000	備蓄倉庫 5, 000㎡ (バック、北、南スタンド下) 物資集配オペレーション室： 大会運営室 130㎡
テニスコー トエリア 23, 000㎡ ※ 主として小口物資の集配業務を行うエリア	屋内テニス場 16, 000 ㎡ 屋外テニス場及び駐車場 7, 000	物資集配オペレーション室： 屋内テニス場会議室 70㎡

※ 屋内テニス場は、部隊の一時滞在場所としての活用も可能

(4) ヘリポートエリア (72, 800㎡) **ゾーニング図G**

区 分	場 所	備 考
非公共用ヘリポート	三木防災ヘリポート 41, 800 ㎡ (南グラウンドを含む)	駐機数 3機 ヘリ格納庫、燃料庫
ヘリコプター臨時 離着陸場	第2陸上競技場 17, 000 ㎡ 野球場 14, 000	



IV データで見る10年のあゆみ

1 災害時等の対応

(1) 備蓄物資等搬出実績

災害名	搬出先	搬出日	内容	数量
新潟県中越沖地震	新潟県	H19. 7. 17	ブルーシート	500 枚
中国四川大地震	中国四川省	H20. 5. 29	テント	200 張
平成 21 年台風第 9 号災害(兵庫県西・北部豪雨)	佐用町	H21. 8. 9	船外機付ボート	6 艇
東日本大震災	宮城県	H23. 3. 13	アルファ化米	10,000 食
			毛布	5,000 枚
			ブルーシート	1,000 枚
			仮設トイレ	100 基
			テント	1 張
		H23. 3. 14	毛布	5,000 枚
		H23. 3. 17	ブルーシート	1,000 枚
		H23. 3. 20	アルファ化米	15,000 食
		H23. 3. 22	アルファ化米	25,000 食
			仮設トイレ	100 基
			テント	3 張
			発電機	2 台
			投光機	4 台
		H23. 3. 28	毛布	300 枚
		H23. 5. 6	ブルーシート	1 枚
			パレット	40 枚
		H23. 5. 25	投光機	1 台
		H23. 5. 31	テント側幕	1 枚
平成 23 年台風第 12 号災害 (紀伊半島豪雨)	和歌山県	H23. 9. 8	仮設トイレ	16 基
		H23. 9. 14	仮設トイレ	3 基
淡路島地震	淡路 防災拠点	H25. 4. 13	アルファ化米	3,040 食
			毛布	3,560 枚
			ブルーシート	1,154 枚
		H25. 4. 14	ブルーシート	2,000 枚
平成 25 年フィリピン台風	フィリピン	H25. 11. 18&22	おむつ	94,292 枚
平成 26 年 8 月豪雨 (丹波市豪雨)	丹波市	H26. 8. 19	仮設トイレ	30 基
		H26. 8. 20	ブルーシート	1,005 枚
			スコップ	432 本
			マスク	10,000 枚
		H26. 8. 24	ブルーシート	1,140 枚

(2) 県民・企業からの支援物資の仕分け・搬出

① 県民からの防寒着の受付・仕分け・搬出

東日本大震災被災者支援の一環として、被災地に向けて防寒着の無償提供を呼びかけ、これら防寒着の受付・仕分け・搬出作業を実施した。

■備蓄倉庫における支援物資(防寒着)受付・仕分け・搬出

・受付、仕分け：平成 23 年 3 月 19 日(土)～3 月 21 日(月)

・搬出：平成 23 年 3 月 21 日 防寒着約 5,500 着を宮城県に向けて搬出。

■屋内テニスコート（ビーンズドーム）における支援物資（防寒着）の仕分け・搬出

備蓄倉庫内における作業は県民局（北播磨県民局、東播磨県民局）職員が中心となって行われたが、ビーンズドームではボランティアも参加し、以下の作業が実施された。

- ・受付：平成 23 年 3 月 22 日（火）～3 月 25 日（金）
- ・仕分け：平成 23 年 3 月 24 日（木）～3 月 26 日（土）
- ・ボランティア参加人数 610 人（各日ごとの人数は以下の通り）

3 月 24 日（木）	271 人
3 月 25 日（金）	168 人
3 月 26 日（土）	171 人

- ・搬出：平成 23 年 3 月 25 日（金）、26 日（土）の 2 日 防寒着計約 40,000 着を宮城県に向けて搬出。

■支援物資（防寒着）の搬出

県民、企業から提供された残りの防寒着を以下の日程で搬出した。

- ・平成 23 年 10 月 26 日（水） 約 1,500 着
- ・平成 23 年 11 月 7 日（月） 約 14,000 着
- ・平成 23 年 11 月 10 日（木） 約 6,000 着

② 企業からの支援物資の仕分け・搬出

企業から提供のあった下表の支援物資を受入れ、仕分け等を行った上で東日本大震災の被災地に搬出した。

食品	精米 200kg、即席味噌汁 21,000 食、カップラーメン 8,000 食、チョコレート 5,000 個、クッキー 500 食、パームクーヘン 1 万個、飲料水ペットボトル 6,000 本など
衣類	T シャツ 1,000 枚、靴下 3,100 足、下着 4,000 着など
生活用品	除菌剤 970 ケース、トイレトペーパー 5,000 ロール、ハンドソープ 500 個、乾電池（単 1～単 4）10 万個、LED ライト 500 個など

（3）実動部隊の宿営

東日本大震災被災地に向かっていた緊急消防援助隊（山口県隊）が屋内テニスコート（ビーンズドーム）を宿营地として利用。

- ・利用日時：平成 23 年 3 月 14 日（月）23:00～15 日（火）6:00
- ・部隊規模：103 名

（4）ヘリによる救急搬送

広域防災センター内に設置されているヘリポートにおける救急搬送実績（25・26 年度）は以下のとおり。

平成 25 年 11 月から県立加古川医療センターがドクターヘリの運用を開始しており、救急搬送件数は増加傾向にある。

年度	救急搬送件数	内訳
平成 25 年度	3 回	（県警ヘリ 1、ドクターヘリ 2）
平成 26 年度（9 月末まで）	9 回	（消防防災ヘリ 3、ドクターヘリ 6）

2 防災研修

(1) 研修受講者数

区分	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
受講者数(来館者数)	23,621	33,142	35,297	37,120	32,437	23,455	27,035	29,037	33,296	29,041
うち、体験学習・訓練受講者数	団体数	313	486	492	442	369	243	321	328	335
	人数	10,462	16,461	15,939	15,607	12,085	7,099	10,020	10,878	11,998

【主な体験学習・訓練メニュー】

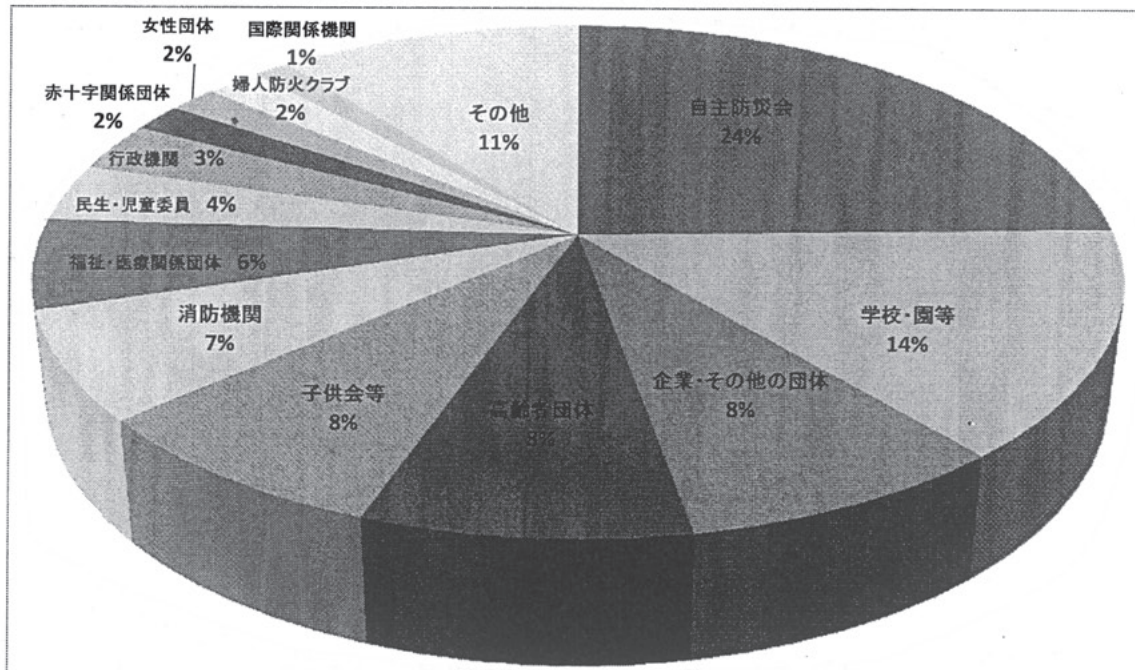
防災講話(災害への備えのアドバイス、体験型学習・訓練メニューの説明)

①地震体験、②煙避難体験、③消火器取扱体験、④屋内・屋外消火栓取扱訓練、

⑤バール、ジャッキ等簡易救出資機材の取扱訓練、⑥ロープ結索、⑦備蓄倉庫見学 ほか

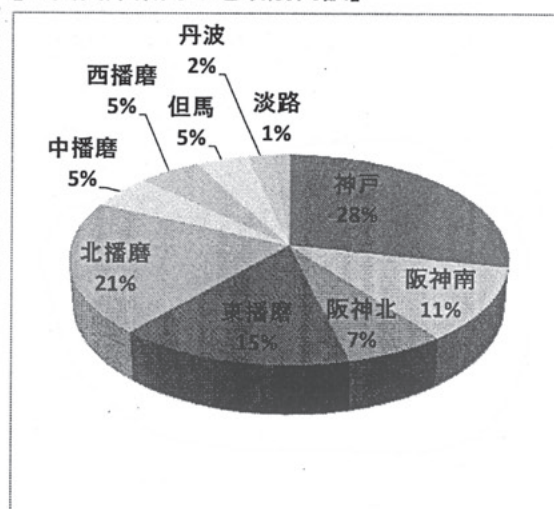
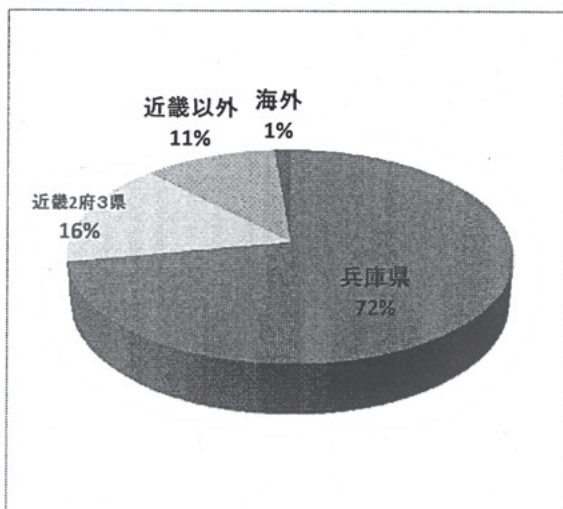
【体験学習・訓練受講者数割合、平成25年度内訳】

【属性別】



【地域別】

【左図兵庫県内の地域別内訳】



(2) 「ひょうご防災リーダー講座」受講者・修了者数

区分	受講者数	男女別		修了者数	男女別		防災士試験		
		男	女		男	女	受験数	合格数	合格率
H16	128	111	17	113	98	15	108	104	96.3%
H17	131	100	31	115	87	28	110	110	100.0%
H18	119	107	12	103	93	10	96	95	99.0%
H19	153	137	16	140	124	16	131	131	100.0%
H20	146	121	25	131	111	20	118	118	100.0%
H21	133	113	20	129	112	17	118	117	99.2%
H22	128	104	24	117	95	22	100	99	99.0%
H23	163	129	34	151	117	34	144	144	100.0%
H24	129	98	31	107	84	23	96	95	99.0%
H25	145	111	34	132	101	31	124	123	99.2%
H26	175	147	28	-	-	-	-	-	-
計	1,550	1,278	272	1,238	1,022	216	1,145	1,136	99.2%

※H23年度～H25年度、左記の他、各県民局でも地域防災リーダー講座を実施。(修了者432人)



平成26年度「ひょうご防災リーダー講座」カリキュラム



※講師の都合により講義日、講義内容を変更する場合があります。

	第1時限(10時15分～11時35分)	第2時限(12時30分～13時50分)	第3時限(14時10分～15時30分)
1回目 9月27日(土)	開講式 南海トラフ地震対策 【関西大学社会安全研究センター長 教授・人と防災未来センター長 河田 恵昭 氏】	班別討論 「自己紹介・役割分担等」	南海トラフ地震・津波発生メカニズムについて 【京都大学大学院地球環境学 助教 奥村 与志弘 氏】
2回目 10月18日(土)	特別警報 急な大雨・雷・竜巻から身を守る 【神戸地方気象台防災気象官 小林和樹 氏】	東日本大震災からの復興状況 【関西大学社会安全学部准教授 永松 伸吾 氏】	災害対応現場との連携を目指した 災害報道のあり方 【NHK解説主幹 山崎 登 氏】
3回目 10月25日(土)	地域の防災コミュニティ支援 【特定非営利活動法人神戸まちづくり研究所 理事 野崎 隆一 氏】	ゲーミング手法を活用した防災・減災 ワークショップ～ハザードマップ活用～ 【人と防災未来センター研究主幹 宇田川 真之 氏】	
4回目 11月8日(土)	被災者の生活再建と支援制度 【関西大学社会安全学部准教授 山崎 栄一 氏】	今後の原子力災害対策 【京都大学原子炉実験所教授 中島 健 氏】	近年の降雨特性と土砂災害を軽減するために 【神戸名誉大学教授 沖村 孝 氏】
5回目 11月15日(土)	地域防災力を上げるために 【神戸学院大学現代社会学部教授 安富 信 氏】	「地域で災害に立ち向かうために～その時、あなたは何かを考え、 どう動くのか～(ワークショップ)」 【神戸学院大学現代社会学部教授 伊藤亜都子 氏と 神戸学院大学の学生他】	
6回目 11月22日(土)	行政の災害対応事例と教訓 【兵庫県前副知事 齋藤 富雄 氏】	防災体験学習 放水体験・簡易救出器具取扱体験・ロープ結索・煙避難体験・地震体験・備蓄倉庫見学 【広域防災センター職員】	
7回目 12月6日(土)	災害心理学 【かさがざ心理相談室 カウンセラー(臨床心理士) 明石 加代 氏】	普遍救命講習 【三木市消防本部・広域防災センター職員】	
8回目 12月13日(土)	災害時要援護者支援とその課題 【同志社大学社会学部教授 立木 茂雄 氏】	リスクコミュニケーション(講義+防災減災クロスロードを使ったワークショップ) 【慶應義塾大学商学部教授 吉川 鑑子 氏】	
9回目 1月24日(土)	歴史と現代を対比し巨大地震を克服する 【名古屋大学 減災連携研究センター センター長・教授 福岡 伸夫 氏】	地区防災計画づくりや様々な防災ワークショップの手法を学ぶ 【兵庫県立大学環境人間学部准教授 木村玲奈 氏】	
10回目 2月7日(土)	災害ボランティア活動の実践 【ひょうごボランティアプラザ 高橋守雄 氏】	避難所運営シヨップ 【防災情報&研究所代表 高梨成子 氏】	
11回目 2月14日(土)	建物の耐震化と長周期地震動 【京都大学大学院地球環境学 教授 清野 純史 氏】	地域防災の実践活動とその課題(講義含む)【コーディネーター】 【神戸学院大学現代社会学部准教授 松本 伸江 氏】 【パネリスト】 リーダーOBや自主防災組織リーダー 3名	
12回目 3月7日(土)	地域の防災リーダーに期待すること 【神戸大学名誉教授 室崎 益輝 氏】	受講生による地域訓練や活動の発表 閉講式	防災士試験(希望者のみ)

■地域防災訓練への参加(必須)(※次の何れか1か所参加し、後日、レポート提出)。

※受講者の地元もしくは、三木市内(青山地区11月23日、緑が丘地区12月14日、自由が丘地区1月17日(土)等)の地域防災訓練

■課題提出(必須): 地元自主防災活動について地元リーダー、市町防災担当、消防署等への取材を踏まえたレポート提出。

3 消防学校

(1) 消防職員に対する教育訓練

教育訓練の種別		期間	修了者数										
			16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
初 任 教 育		6ヵ月	100	113	118	129	178	160	171	141	161	166	
専科 教育	警防科	10日	17	22	22	13	20		19		28		
	特殊災害科	10日	18 (7日)	25	20	17	20	20	24	22	31	32	
	予防査察科	10日	27	24	15	18		25		29		36	
	危険物科	5日	16	20	14	0		16			26		
	火災調査科	10日	31 (13日)	34 (13日)	29	25	28	28	29	30	32	32	
	救助科	21日	34	34	32	30	31	28	34	31	33	31	
	救急科	38日	98	103	105	121	162	148	155	137	153	154	
幹部 教育	初級幹部科	10日	20	27		21		26		35		34	
	中級幹部科	7日	18		20		32		24		27		
	上級幹部科	3日	13		7		6		9		9		
	上級幹部科 (新任消防長コース)	5日		1	2								
特別 教育	新任消防長科	5日				1	6	3	4				
	教育研究科	2日	29										
	原子力科	3日	9										
	惨事ストレス科	2日	15	34									
	生物剤科	3日	15										
	毒物劇物科	3日	15										
	ポンプ操法科	1日				153	106						
	災害現場指揮科	3日										41	
	潜水科	5日	21 (3日)	23 (3日)	21	20		25		23			
	はしご自動車科	3日	25	21		18		18		28			
救急救命士養成課程		7ヵ月		41 (6ヶ月)	50	41	39	41	42	39	46	45	
救急救命士追加講習 (気管挿管・薬剤投与)		32日			53	57	56	50	50	58			
救急救命士追加講習 (ビデオ喉頭鏡)		2日×6回									106	195	
気管挿管講習		10日	42										
研 修 ・ 講 習	山岳用救助器具取扱技術研修 (22年度までは山岳救助訓練研修会)		3日	25 (1日)	28 (1日)	27	25	26	32	28	32	33	33
	救助技術合同研修会		1日		229	120	221	192	235				
	惨事ストレス研修		2日			27	33	25	30	23	26	23	25
	ポンプ操法講習会	小型	半日	112 (2日)	164 (1日)	94 (1日)			58		66		76
		自動車	半日						59		68		81
計			823	1,083	776	943	927	1,002	612	765	708	981	

(2) 消防団員に対する教育訓練

教育訓練の種別			期間	修了者数									
				16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
幹部教育	中級幹部科		2日間	人 83	人 103	人 109	人 95	人 88	人 104	人 92	人 101	人 85	人 106
特別教育	指導員科		3日間	19	25	29	31	33	29	30	26	26	25
	短期教育	1日入校	1日間	1,091 (43)	302 (10)	915 (36)	189 (6)	585 (22)	99 (3)	532 (22)	95 (3)	428 (18)	34 (1)
	現地教育	現地訓練	1日間	763 (8)	1,674 (13)	550 (3)	526 (3)	677 (4)	406 (2)	415 (2)	732 (4)	555 (4)	674 (4)
計				1,956	2,104	1,603	841	1,383	638	1,069	954	1,094	839

※ () 内は実施回数

(3) 自衛消防隊員に対する教育訓練

教育訓練の種別		期間	修了者数									
			16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
特別教育	隊員課程	3日間	人 68	人 61	人 61	人 58	人 53	人 53	人	人	人	人
	隊長課程	3日間							43	37	35	

(4) 平成26年度 教育・研修日程

① 教育日程

項目 対象	教育の種類	教育科目	実施期間	日数	人数	通学 宿泊 の別
消防職員	初任教育		平成26年 4月 3日(木)～ 9月26日(金)	6ヵ月	160	全寮
	専科教育	警防科	平成26年11月10日(月)～11月21日(金)	10日	31	全寮
		特殊災害科	平成26年11月26日(水)～12月 9日(火)	10日	27	全寮
		予防査察科	(平成26年度は実施しない)	10日	—	全寮
		危険物科	平成26年12月 1日(月)～12月 5日(金)	5日	28	全寮
		火災調査科	平成27年 1月 6日(火)～ 1月20日(火)	10日	33	全寮
		救急科	平成27年 1月22日(木)～ 3月17日(火)	38日	149	全寮
		救助科	平成26年 10月 1日(水)～10月 30日(木)	21日	36	全寮
	幹部教育	初級幹部科	(平成26年度は実施しない)	10日	—	全寮
		中級幹部科	平成26年11月10日(月)～11月18日(火)	7日	26	全寮
		上級幹部科	平成26年10月21日(火)～10月23日(木)	3日	14	全寮
	特別教育	災害現場指揮科	(平成26年度は実施しない)	3日	—	全寮
		潜水科	平成26年 7月28日(月)～ 8月 1日(金)	5日	18	選択
	救急救命士養成課程		平成26年 9月 1日(月)～ 27年3月 中	7ヵ月	47	選択
	救急救命士追加講習		平成26年5月～6月のうち別途指定する日(複数回実施)	2日	171	通学
消防団員	幹部教育	指揮幹部科分団指揮課程	平成26年11月1日(土)～11月2日(日)	2日	103	全寮
		指揮幹部科現場指揮課程	平成26年12月13日(金)～12月14日(日)	3日	27	全寮
	短期教育	一日入校	火曜日に実施	—	482	通学
	現地教育	現地訓練	随時(申出書を前年度2月末日までに提出する。)	—	506	—

② 研修日程

項目 対象	研修名	実施期間	日数	人数	通学 宿泊 の別
消防職員	山岳用救助器具取扱技術研修	平成27年 3月10日(火)～ 3月12日(木)	3日	31	通学
	惨事ストレス研修	平成26年 7月16日(水)～7月17日(木)	2日	22	通学
	ポンプ操法研修	小 型 (平成26年度は実施しない)	半日	—	通学
		自動車 (平成26年度は実施しない)	半日	—	通学

4 防災関係機関による訓練施設の利用

訓練施設は消防学校の教育訓練や県内消防の訓練のほか、各防災関係機関の訓練や大会にも利用されている。

【主な利用実績】

消 防

全国消防救助技術大会、消防救助技術近畿地区指導会、緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練、国際消防救助隊連携訓練、全国消防操法大会、兵庫県消防操法大会、兵庫県内市町消防団消防操法訓練、兵庫県消防協会女性消防団員技術研修会 等

警 察

近畿管区広域緊急援助隊合同訓練、兵庫県警察機動隊災害警備訓練、兵庫県警察航空隊ホイスト救助訓練、兵庫県警察鑑識課警察犬訓練、兵庫県警察科学捜査研究所燃焼実験、大阪府警察鑑識課警察犬訓練 等

自衛隊

陸上自衛隊第3特科隊方面災害対処演習

国際緊急援助隊

国際緊急援助隊救助チーム総合訓練、国際緊急援助隊救助チーム I E R 受検

D M A T

災害派遣医療チーム (D M A T) 隊員養成研修

日 赤

日本赤十字社第4ブロック支部合同災害救護訓練

N P O 法人等

ピースウィンズ・ジャパン、社会福祉法人 A W D S A (Asia Working Dog Support Association)、ジャパントスクフォース、全国救護活動研究会、J P T E C 協議会、I T L S J A P A N、 等

5 三木総合防災公園

(1) 入園者数の推移

(単位：人)

年度	合 計	施 設 入 園 者 数						
		一 般	陸上 競技場	第2陸上 競技場	球技場	野球場	グランド ゴルフ場	テニスコート
17	220,952	179,468	12,240	287	21,212	7,745	0	0
18	272,000	189,206	16,945	7,342	44,601	13,906	0	0
19	456,500	315,373	17,818	16,918	57,150	16,605	0	32,636
20	623,300	421,141	24,319	20,631	61,310	19,633	0	76,266
21	707,500	486,449	18,160	19,335	64,828	18,362	3,007	97,359
22	774,200	571,492	15,378	18,786	65,993	15,697	2,313	84,541
23	849,000	611,810	23,167	23,355	74,479	16,450	4,468	95,271
24	916,100	705,801	30,589	19,096	67,967	16,985	7,423	68,239
25	923,800	718,390	26,559	15,715	66,858	15,237	8,025	73,016

(2) 主な催し

平成17年度

9月10日・11日	近畿陸上競技選手権大会（陸上競技場）
10月14日～18日	全国社会人サッカー選手権大会（陸上競技場）
10月22日～26日	北播磨交流の祭典「ふれあい舞台」（公園全域）
10月29日・30日	兵庫ふれあいの祭典（公園全域）

平成18年度

9月16日	サッカー J2リーグ 公式戦（ヴィッセル神戸 vs 徳島ヴォルティス）（陸上競技場）
10月3日～5日	のじぎく兵庫国体（少年サッカー競技）（陸上競技場他） （10月3日）高円宮妃 久子様 お成り（ご観覧）（陸上競技場）
10月14日～16日	のじぎく兵庫大会（障害者サッカー競技）（陸上競技場他）
11月18日・19日	第1回ひょうご生涯スポーツ大会（公園全域）

平成19年度

5月27日	第2回ひょうご生涯スポーツ大会（公園全域）
9月2日	サッカー J2リーグ 公式戦（レノッパ大阪 vs 水戸ホーリーホック）（陸上競技場）
9月23日	天皇杯全日本サッカー選手権大会（陸上競技場）
11月3日	屋内テニスコートオープニングイベント「エキシビジョンマッチ」（ビーンズドーム）
11月23日～25日	第29回日本文化デザイン会議（ビーンズドーム）
2月2日・3日	テニスフェドカップ2008（日本 vs カザフスタン）（ビーンズドーム）

平成20年度

5月3日	兵庫県郡市区対抗陸上競技大会（陸上競技場）
5月24日	第3回ひょうご生涯スポーツ大会（公園全域）
7月21日～23日	北京五輪サッカー女子代表チーム合宿（陸上競技場他）
8月23日～31日	第6回兵庫国際ジュニアテニス大会（ビーンズドーム）

9月7日	サッカーなでしこリーグ（INACレオネッサ vs 日テレベレーザ）（陸上競技場）
9月10日	フジテレビ「めちゃイケてるッ!」（テニ対決 岡村 vs 杉山）（ビーンズドーム）
9月13日	天皇杯全日本サッカー選手権大会（陸上競技場）
1月15日～18日	第23回テニス日本リーグ（ビーンズドーム）

平成21年度

4月4日～12日	ミキプルーン神戸オープンテニス大会（ビーンズドーム）
5月3日	兵庫県郡市区対抗陸上競技大会（陸上競技場）
7月26日	スポーツクラブ 21 ひょうご全県交流フェスティバル（公園全域）
8月1日	総理大臣杯全日本大学サッカーナメント（陸上競技場）
8月6日～8日	近畿中学校総合体育大会サッカー競技大会（陸上競技場）
8月23日～31日	第7回兵庫国際ジュニアテニスナメント（ビーンズドーム）
10月10日・11日&17日・18日	秋季兵庫県高等学校軟式野球大会（野球場）
12月5日・6日	近畿中学校総合体育大会駅伝大会（公園全域）
1月20日～23日	第24回テニス日本リーグ（ビーンズドーム）

平成22年度

4月3日	ミキプルーン神戸オープンテニス大会（ビーンズドーム）
4月25日	第1回三木総合防災公園スポーツリンクマラソン大会（公園全域）
5月3日	兵庫県郡市区対抗陸上競技大会（陸上競技場）
5月23日	第21回全国みどりの愛護のつどい（ビーンズドーム他） 皇太子殿下 行啓（みどりの愛護のつどい御臨席）
7月4日	総理大臣杯全日本大学サッカーナメント（陸上競技場）
8月22日～31日	第8回兵庫国際ジュニアテニスナメント（ビーンズドーム）
10月9日・11日&16日・17日	秋季兵庫県高等学校軟式野球大会（野球場）
1月20日～23日	第25回テニス日本リーグ（ビーンズドーム）

平成23年度

4月2日・3日&5日～10日	第20回ミキプルーン神戸オープンテニス2011（ビーンズドーム）
7月8日～10日	男子テニス国別対抗戦デビスカップグループⅠ（ビーンズドーム） 2ndラウンド（日本 vs ウズベキスタン）
7月16日・17日	女子テニス国別対抗戦フェドカップグループⅡ（ビーンズドーム） プレイオフ（日本 vs アルゼンチン）
8月22日～31日	ブルボン兵庫国際ジュニア2011（ビーンズドーム）
12月1日～4日	第26回テニス日本リーグ（ビーンズドーム）
12月3日・4日、23日	全日本女子サッカー選手権大会（陸上競技場）
2月4日・5日	女子テニス国別対抗戦フェドカップグループⅡ（ビーンズドーム） 1回戦（日本 vs スロベニア）
2月10日～12日	男子テニス国別対抗戦デビスカップグループⅠ（ビーンズドーム） 1回戦（日本 vs クロアチア）

平成24年度

4月1日～8日	第21回ミキプルーン神戸オープンテニス2012（ビーンズドーム）
6月10日	兵庫県高校総体サッカー男子決勝（陸上競技場）

7月28日	みっきい夏まつり（三木市花火大会）（公園全域）
8月23日～31日	ブルボン兵庫国際ジュニア2012（ビーンズドーム）
8月26日	第14回兵庫県サッカー選手権決勝（陸上競技場）
9月9日	第30回兵庫県ラグビースクール大会（球技場）
12月5日～9日	第26回テニス日本リーグ（ビーンズドーム）
12月16日	第34回全日本女子サッカー選手権大会（陸上競技場）
12月26日・28日	第21回全日本大学女子サッカー選手権大会（陸上競技場）
3月26日～29日	第1回ガバナーズカップサッカー（陸上競技場）

平成25年度

4月1日～7日	第22回ミキプルーン神戸オープンテニス2013（ビーンズドーム）
6月9日	兵庫県高校総体サッカー競技男子の部決勝（陸上競技場）
6月22日・23日	第66回近畿高等学校サッカー選手権大会（陸上競技場）
7月27日	第2回みっきい夏まつり（公園全域）
8月25日～31日	ブルボン兵庫国際ジュニア2013（ビーンズドーム）
9月8日	第93回天皇杯全日本サッカー選手権大会（陸上競技場）
11月23日・24日	第35回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会（陸上競技場）
12月25日・27日・29日	第22回全日本大学女子サッカー選手権大会（陸上競技場）
12月4日～8日	第27回テニス日本リーグ（ビーンズドーム）

平成26年度上半期（4月～10月）

4月25日～26日	DUNLOP KOBE OPEN 2014 国際（国内）車いすテニス大会（ビーンズドーム）
5月24日	第8回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会（陸上競技場ほか）
6月13日～15日	第34回兵庫県ダブルトナメント（テニス）（ビーンズドーム）
7月12日	第94回天皇杯全日本サッカー選手権第2回戦（陸上競技場）
7月26日	三木市政60周年市民パレード～ディズニーの仲間たちもやって来た～第3回みっきい夏まつり（公園内全域）
8月6日～8日	平成26年度中学校総合体育大会近畿大会（陸上競技場ほか）
9月13日・14日	第7回三木総合防災公園24時間リレーマラソン大会（公園内全域）
10月11日・12日&18日・19日	平成26年度秋季兵庫県高等学校軟式野球大会（野球場）

広域防災 センター 実戦デモ

兵庫県広域防災センターでは、阪神・淡路大震災 20 年及び広域防災センター開設 10 年を機に、より多くの県民に広域防災センターの施設・活動内容を知ってもらうことを目的に「広域防災センター実戦デモ」を平成 26 年 11 月 30 日（日）に開催しました。

このイベントでは、消防、警察、自衛隊の訓練やヘリコプターを使った救助訓練を行ったほか、地震や煙の体験コーナー、防災関係機関によるボール展示、車両展示、ミニ制服試着コーナーなどを設けるなど、大人から子供まで楽しめるプログラムが実施され、訓練参加者や防災関係機関関係者をはじめ一般市民など約 4,550 名が参加しました。

- 開催日時 平成 26 年 11 月 30 日（日）10:00～14:00
- 開催場所 兵庫県広域防災センター
- 主催 広域防災センター実戦デモ実行委員会
（兵庫県広域防災センター、兵庫県下消防長会、（公財）兵庫県園芸・公園協会）



■ 車両実走デモ

警察・消防・自衛隊等実動部隊等の車両 17 台、ヘリ 1 基の機能や装備内容、災害時の活動内容の紹介



■ 救助訓練（消防）

東播磨地区消防本部の救助隊員による消防学校訓練施設を使用した高所や煙道内からの救助訓練



■ 消防・医療連携訓練

（神戸市消防局・災害医療センター）
閉鎖空間から要救助者を救出し、現場にて治療を行う訓練



■ 物資搬出・搬入訓練

（兵庫県トラック協会）
フォークリフトを使用した、備蓄倉庫からの荷出し、トラックへの積み込み等の訓練



■ 救助訓練（警察）

兵庫県広域緊急援助隊員による、ガレキ訓練施設を使用した高所や中州からの救出訓練



■ 救助訓練

（兵庫県消防防災航空隊）
山岳救助を想定したヘリによる要救助者搬送訓練



■ 物資搬送訓練

（兵庫県トラック協会、兵庫県立大学、県立舞子高校等）
救援物資を複数の搬送先別に仕分ける訓練



■ 救助訓練（自衛隊）

自衛隊第 3 特科隊、第 8 高射特科群による、ガレキ訓練施設を使用した、捜索・救助・搬送訓練



■ 宿営施設・車両等展示 消防・警察・自衛隊による災害拠点模した宿営施設、車両展示等



■ ブース展示 防災関係団体による活動紹介、防災体験学習等

団体名	概要
日本赤十字社兵庫県支部	仮設診療所展示、応急手当講習、救護用車両展示・乗車体験等
DMAT（災害派遣医療チーム）	資機材展示、活動内容のバナー展示
県立舞子高校 環境防災科	環境防災科の活動紹介、装置を使った耐震化の重要性デモ
NPO 法人ひと・コネクト兵庫	東日本大震災被災地への想いをつなぐ展示
ばんぶーふぁみりー・神戸加ロード研究会	カードゲームを使った防災学習
三木市消防本部	救急隊活動シミュレーション、救急自動車の展示等
消防学校救急救命士養成課程	AEDの展示、AEDを使った救命活動講習
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター	阪神・淡路大震災のバナー展示、減災グッズチェックリストの配布等
NPO 法人つみっくくらぶ	大型ブロックを使った災害時プライバシー空間作り、活動バナー展示等
NPO 法人兵庫県防災士会	非常持出品重量体験、防災啓発ビデオ上映、防災バナー展示等
神戸地方気象台	雨量計・計測震度計の展示、地震・気象に関するバナー展示
NTT 西日本兵庫支店	災害用伝言ダイヤルとWeb171の利用体験、衛星携帯電話の展示等
兵庫県立大学学生復興支援団体 LAN	東日本大震災支援活動バナー展示等
自衛隊兵庫地方協力本部	自衛隊の災害救助活動等のPR、ミニ制服試着等
イオンリテール(株)	防災関連用品の展示等
ひょうご防災ネット	ひょうご防災ネットの紹介、登録支援
三木市危機管理課	バナー等を使った三木市内における防災情報の提供
北播磨県民局	県の防災施策、各種防災情報のバナー展示
フェニックス共済	フェニックス共済の紹介、バナー展示等



■ 防災体験・防災学習

体験・学習

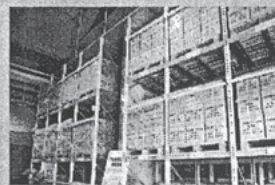


起震車を使った地震体験



水消火器体験

備蓄倉庫見学



■ その他

E-デフィンス防災・減災イベント



スタンプラリー



■ 炊出訓練

（自衛隊、婦人防火クラブ）

自衛隊による炊出し、婦人防火クラブ員による配膳訓練



■ 宿営サポート設備設置訓練

（関西国際大学）

簡易宿泊テント、仮設トイレの設営・設置訓練



7 職員名簿

年度		16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
市長		元山光夫	元山光夫	高木健治	高木健治	高木健治	野口一行	野口一行	吉本義幸	吉本義幸	上り口 豊	上り口 豊
次長		—	—	—	—	—	—	—	—	橋 敏光	—	—
総務部長		—	雪岡道弘	雪岡道弘	雪岡道弘	高木健治（兼）	野口一行（兼）	野口一行（兼）	吉本義幸（兼）	吉本義幸（兼）	森田克彦	芳永和之
消防学校長		元山光夫（兼）	園井延廣	園井延廣	猪目和徳	大西康熙	大西康熙	大西康熙	大西康熙	廣田 脩	上り口豊（兼）	上り口豊（兼）
防災公園管理部長		—	岩田修三	岩田修三	濱田泰廣	濱田泰廣	濱田泰廣	初田一三	初田一三	橋 敏光（兼）	市原 考	市原 考
副市長		石井 勝	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総務部 (H17年度設置)	主幹	—	—	—	—	—	—	長谷川和正	長谷川和正	松尾圭造	—	—
	管理課長	石井 勝（兼）	別府英市	別府英市	別府英市	平田裕昭	平田裕昭	長谷川和正（兼）	長谷川和正（兼）	松尾圭造（兼）	庄慶浩一（兼）	庄慶浩一（兼）
		中村道男	西山芳博	西山芳博	西山芳博	西山芳博	西山芳博	林 嘉昭	大貫裕康	大貫裕康	大貫裕康	源 孝洋
		夜久卓雄（再）	内藤まり子	内藤まり子	内藤まり子	上月まち子	上月まち子	上月まち子	伊藤真由美	伊藤真由美	木下明子	木下明子
	防災教育専門員	長谷川和正	長谷川和正	長谷川和正	長谷川和正	井上清文	井上清文	井上清文	田中健一	田中健一	田中健一	田中健一
		—	—	—	—	—	—	—	—	長谷川和正（再）	長谷川和正（再）	長谷川和正（再）
		—	大西貴弘	大西貴弘	大西貴弘	大西貴弘	伊藤真由美	伊藤真由美	—	—	—	—
消防学校	副校長 主任消防教育専門員 主任消防教育専門員	園井延廣	—	—	—	—	—	—	—	—	庄慶浩一	庄慶浩一
		高橋利雄	高橋利雄	丸山宏司	丸山 宏司	柳 宣伸	柳 宣伸	長谷川貴則	長谷川貴則	大西敏文	大西敏文	奥見啓五
		林 利幸 (神戸市)	伊藤芳弘 (神戸市)	伊藤芳弘 (神戸市)	藤本 博 (神戸市)	藤本 博 (神戸市)	陰山修治 (神戸市)	陰山修治 (神戸市)	作田 中 (神戸市)	作田 中 (神戸市)	下原壽宏 (神戸市)	下原壽宏 (神戸市)
		金澤福男	芦田俊春	芦田俊春	芦田俊春	芦田俊春	吉本澄人	高橋正行	高橋正行	高橋正行	高下勝次	高下勝次
		赤土恒夫	三澤卓司	三澤卓司	吉本澄人	吉本澄人	高橋正行	金川光明（再）	金川光明（再）	金川光明（再）	金川光明（再）	金川光明（再）
		—	—	—	—	—	—	—	—	大西康熙（再）	大西康熙（再）	大西康熙（再）
		堀川浩司 (姫路市)	玉谷康彦 (姫路市)	玉谷康彦 (姫路市)	玉谷康彦 (姫路市)	塚原昌尚 (姫路市)	塚原昌尚 (姫路市)	塚原昌尚 (姫路市)	釣 智由 (姫路市)	釣 智由 (姫路市)	釣 智由 (姫路市)	有馬健二 (姫路市)
		坂之上勇自 (尼崎市)	野島健治 (尼崎市)	野島健治 (尼崎市)	野島健治 (尼崎市)	吉本康生 (尼崎市)	吉本康生 (尼崎市)	吉本康生 (尼崎市)	大庭好治 (尼崎市)	大庭好治 (尼崎市)	大庭好治 (尼崎市)	隅替利次 (尼崎市)
		三谷勝彦 (明石市)	三谷勝彦 (明石市)	三谷勝彦 (明石市)	林 伸亮 (明石市)	林 伸亮 (明石市)	林 伸亮 (明石市)	笹川悦嗣 (明石市)	笹川悦嗣 (明石市)	笹川悦嗣 (明石市)	皐月建豪 (明石市)	皐月建豪 (明石市)
		君野正則 (加古川市)	君野正則 (加古川市)	君野正則 (加古川市)	辰巳 斉 (加古川市)	辰巳 斉 (加古川市)	辰巳 斉 (加古川市)	古賀隆之 (加古川市)	古賀隆之 (加古川市)	古賀隆之 (加古川市)	橋 靖洋 (加古川市)	橋 靖洋 (加古川市)
		前村 佳 (芦屋市)	—	木下隆友 (西宮市)	木下隆友 (西宮市)	木下隆友 (西宮市)	川崎秀晃 (西宮市)	川崎秀晃 (西宮市)	川崎秀晃 (西宮市)	中南貴博 (西宮市)	中南貴博 (西宮市)	中南貴博 (西宮市)
		—	—	—	—	—	—	—	—	松山智彦 (尼崎市・研)	北川達也 (宝塚市・研)	稲葉陽介 (川西市・研)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	光明和彦 (北はりま・研)	松野剛弥 (高砂市・研)
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	竹本貴範 (三田市・研)	新保和也 (芦屋市・研)
	副校長（救急救命士養成担当）	中本克樹	大島秀夫	大島秀夫	金川光明	川崎敏明	川崎敏明	戸田清彦	戸田清彦	庄慶浩一	—	—
	教務課長（救急救命士養成担当） (H17年度設置)	近藤公成 (神戸市)	近藤公成 (神戸市)	近藤公成 (神戸市)	藤井勝彦 (神戸市)	藤井勝彦 (神戸市)	藤井勝彦 (神戸市)	下園英樹 (神戸市)	下園英樹 (神戸市)	大橋 達 (神戸市)	大橋 達 (神戸市)	川上喜太郎 (神戸市)
		柴田誠二 (神戸市)	柴田誠二 (神戸市)	守田 央 (尼崎市)	守田 央 (尼崎市)	前嶋宏美 (姫路市)	前嶋宏美 (姫路市)	村井慎二朗 (北はりま)	村井慎二朗 (北はりま)	小玉耕史 (西宮市)	小玉耕史 (西宮市)	小玉耕史 (西宮市)
		中田敏弘 淡路広域消防組合	西村直晃 (篠山市)	西村直晃 (篠山市)	—	—	—	—	—	—	—	—
		前村 佳 (芦屋市)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
防災公園管理部 (H17年度設置)	主幹・所長補佐	—	—	—	—	—	—	—	—	岡田忠明	小野明彦	小野明彦
	業務課長	大熊忠男	大熊忠男	大熊忠男	脇尾紀久	唐津栄次	唐津栄次	吉川文夫	岡田忠明（兼）	小野明彦（兼）	小野明彦（兼）	小野明彦（兼）
	運営企画課長	二宗誠治	二宗誠治	二宗誠治	北川 博	北川 博	松本茂喜	松本茂喜	井上 薫	井上 薫	吉田恒彦	吉田恒彦

（備考）

- ・平成16年度の組織：県立広域防災センター（内部組織として消防学校を置く）
- ・平成17年度以降の組織：広域防災センター（内部組織として総務部、消防学校、防災公園管理部を置く）
- ・（兼）：兼務、（再）：再任用職員、（研）：職場研修職員
- ・上表には、嘱託員、日々雇用職員は含まれていない。